



看護リハビリテーション学部 看護学科 中田 愛理さん



4年生の「チームケア論」では、看護師・理学療法士・管理栄養士・薬剤師の4職種が連携し私は看護師として生活環境や生活者としての患者さんを捉えてケアを考える一方、理学療法士は身体機能、管理栄養士は食生活、薬剤師は薬の飲み合わせや副作用管理など、他職種の専門的な視点に触れたことで、自分一人では踏み込めない判断が多々あると実感しました。
それぞれの知識を共有し合う中で、医療は一職種では成り立たず、協働することの大切さを強く感じました。

DEPARTMENT OF NURSING

看護リハビリテーション学部 理学療法学科 三浦 加奈さん



中学生の頃、足の手術を受けた際に担当してくださった理学療法士の方がきっかけで、医療系が強い甲南女子大学を選びました。
当初は多職種連携教育のイメージはありませんでしたが、チームケア科目の様々な演習を通し看護学科や医療栄養学科の学生と接する中で、自分にない知識を得ることができ、それが刺激となり、向上心を持って学び続けたい気持ちが芽生えました。
卒業後は患者さんを第一に考え、日々新しいことに挑戦し続ける理学療法士になり、医療現場に貢献したいです。

DEPARTMENT OF PHYSICAL THERAPY

医療栄養学部 医療栄養学科 小原 志織さん



高校時代は多職種連携教育の具体的なイメージはなかったものの、チームで活動することが好きな私は、「チーム医療」という言葉に魅力を感じ、その後の学びに前向きになりました。
看護学科の学生との演習で自分の専門知識の不足を実感することがありましたが、異なった視点があるからこそ、自分の専門性を意識することや、他分野の視点から多くを学ぶことに気づくことができました。
自分の専門性を上手に生かしていくためにも、多職種連携を大学時代から学べてよかったと感じています。

DEPARTMENT OF CLINICAL NUTRITION AND DIETETICS



患者さんとその家族を中心としたケア実践を目指して



甲南女子大学

〒658-0001 兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2-23
<https://www.konan-wu.ac.jp/>

| 看護リハビリテーション学部 |



【看護学科】



【理学療法学科】

| 医療栄養学部 |



【医療栄養学科】



甲南女子大学

| 看護リハビリテーション学部 | 医療栄養学部 |



チームケアとは

健康支援のニーズは、病院のみならず地域で生活している人々にも存在します。薬を使用したり運動に励んだり食事に気を付けるなど、健康支援ニーズは多様で、患者さんとその家族によって異なります。本学の専門職連携教育(Inter Professional Education:IPE)は、在宅の場など医師が常駐しない場においても機能するチーム力の育成をめざしています。学生時代から、多様な職種を目指す学生同士で学び合える環境は、他を尊重しながら力を合わせて対象者のニーズに応える力を養うことができます。



看護師

理学療法士

管理栄養士



医療コミュニケーション論(演習の様子)



医療倫理(事例検討会)



チームケア論



1年次から4年次まで積み上げる学び

1・2年次

自己ならびに他専門職の役割と責任を理解できる力

- 「リハビリテーション概論」「理学・作業療法論(看護学科)」
- 「作業療法概論(理学療法学科)」「看護学概説(理学療法学科)」
- 「栄養学総論(看護学科・理学療法学科)」
- 「臨床医学概論(医療栄養学科)」

患者・家族・利用者および多職種とのコミュニケーション力

- 「医療コミュニケーション論(看護学科・理学療法学科)」

Point 1

段階的に学べるカリキュラムでチームケアのスキルを習得



めざす専門職を深く知ることからはじまり、異なる職種への理解、さらに多職種連携の実施と、医療等に必要知識と技術を積み上げるための学びを用意しています。さまざまな職種の人たちと協働する力を着実に身につけます。

3年次

患者・家族・利用者および多職種におけるお互いの価値観を尊重する力

- 「医療倫理」

多職種が連携する価値を見出す力

- 「医療リスクマネジメント」

患者・家族・利用者および多職種とのコミュニケーション力

- 「多職種コミュニケーション論(医療栄養学科)」

Point 2

多職種連携を学ぶための学科合同科目が充実



3学科合同で行う授業「医療リスクマネジメント論」や「医療倫理」では、多職種と協働する必要性を考えます。異なる職種をめぐす仲間と意見を交わすなかで、お互いの専門知識や考え方について理解を深めます。

4年次

患者・家族・利用者を中心とした効果的なチームケアを実践できる力

- 「チームケア論」



Point 3

神戸薬科大学とも協働して多職種連携の学びを実践



医療の現場で必要となる多職種連携をグループ演習で体験します。神戸薬科大学との合同授業「チームケア論」では、看護職、理学療法士、管理栄養士、薬剤師を志望する学生が協働し、患者さんを支えるチームになる過程を学びます。